

06 胃癌

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl +クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“**現在のページを印刷する**”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
1	共通	06001-2A	S-1+CDDP	
2	共通	06002-2A	CPT-11+CDDP(胃)	
3	共通	06003-1A	S-1+Docetaxel(進行・再発)	
4	共通	06004-1A	XP	
5	共通	06005-2A	【初回】トラスツズマブ+XP	
6	共通	06005-4A	トラスツズマブ+XP(2回目以降)	
7	共通	06006-2A	Paclitaxel weekly(胃)	
8	共通	06007-1A	CPT-11 B法(biweekly)(胃)	
9	科別(外科)	06009-2B	Paclitaxel(1回法)	
10	科別(外科)	06010-1B	Docetaxel(胃)	
11	科別(外科)	06013-1B	MTX+5-FU交代(入院用)	
12	科別(外科)	06014-2B	S-1+Paclitaxel 3週毎	
13	科別(外科)	06015-1B	S-1+CPT-11	
14	科別(外科)	06016-2B	S-1+CDDP(day1・15)	
15	科別(外科)	06017-2B	S-1+CDDP(day1・8)	
16	共通	06018-1A	アブラキサン(3週毎)(胃)	
17	共通	06019-2A	XELOX(中心)(胃)	
18	共通	06020-2A	XELOX(末梢)(胃)	
19	共通	06021-2A	【初回】トラスツズマブ+CapeOX(中心)	
20	共通	06021-4A	トラスツズマブ+CapeOX(中心)(2回目以降)	
21	共通	06022-2A	【初回】トラスツズマブ+CapeOX(末梢)	
22	共通	06022-4A	トラスツズマブ+CapeOX(末梢)(2回目以降)	
23	共通	06023-2A	SOX OX=100(中心)(胃)	
24	共通	06024-2A	SOX OX=100(末梢)(胃)	
25	共通	06025-2A	【初回】トラスツズマブ+SOX OX=100(中心)	
26	共通	06025-4A	トラスツズマブ+SOX OX=100(中心)(2回目以降)	
27	共通	06026-2A	【初回】トラスツズマブ+SOX OX=100(末梢)	
28	共通	06026-4A	トラスツズマブ+SOX OX=100(末梢)(2回目以降)	
29	共通	06027-2A	ラムシルマブ+パクリタキセル	
30	共通	06028-1A	ラムシルマブ(胃)	
31	共通	06030-1A	アブラキサン(毎週)(胃)	
32	共通	06031-2A	m-FOLFOX6(胃)	
33	共通	06032-2A	【初回】トラスツズマブ+S-1+CDDP	
34	共通	06032-4A	トラスツズマブ+S-1+CDDP(2回目以降)	

35	共通	06033-1A	<u>ラムシルマブ+アブラキサン</u>
36	共通	06034-1A	<u>ニボルマブ(240mg)(胃)</u>
37	共通	06035-1A	<u>S-1+Docetaxel(術後補助療法)</u>
38	共通	06036-1A	<u>ニボルマブ+SOX(中心)</u>
39	共通	06037-1A	<u>ニボルマブ+SOX(末梢)</u>
40	共通	06038-1A	<u>ニボルマブ+CapeOX(中心)</u>
41	共通	06039-1A	<u>ニボルマブ+CapeOX(末梢)</u>
42	共通	06040	<u>Zolbetuximab(800-400) +mFOLFOX6</u>
43	共通	06042	<u>Zolbetuximab+CAPOX</u>

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl +クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する”を選んでください。

06001

胃癌

S-1+CDDP

申請科

内科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R3.6 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p. o.	day1(夕)~22(朝) 14日間休薬
シスプラチン(cisplatin)	60mg/m ²	div. (2h)	day8

5週毎、2~6ケール

類似プロトコール S-1+CDDP 療法(day1~8)(06017)、S-1+CDDP 療法(day1~15)(06016)あり

Regimen

内服	day1(夕)~22(朝)(14日間休薬) エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後 day11 デカドロン錠 8mg分2 day8	90 分 30 分 90 分 30 分 30 分 2 時間 2 時間 90 分	day9, 10 emain①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注 10mg 1A emain②ポタコールR 500mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V emain③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
備 考			
<p>・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。</p> <p>・S-1は腎機能(CRE, Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。</p> <p><推奨制吐剤>現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day8 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day9, 10 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day8~11</p> <p>・アプレピタント、オランザピン OD 錠は内服処方オーダー</p> <p>・アプレピタントを処方する場合は、day8 のデキサート注を 9.9 mg(6.6mg1V+1.65mg2A)に変更</p> <p>・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌</p>			
	【レジメンシステム登録】 06001-2A S-1+CDDP ・S-1 は処方内服オーダー ・デカドロン錠は処方内服オーダー		

06002

胃癌

CPT-11+CDDP(胃)

申請科

外科

H. 27.7 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	60mg/m ²	div. (90分)	day1
シスプラチン (cisplatin)	30mg/m ²	div. (90分)	day1

2週毎

効果ある限り

化療ベット予約 : 5 時間 30 分で登録

Regimen

30分	day1 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 2V		
90分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩 ()mg		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		備 考
90分	メイン②生理食塩液 500mL 1B		<推奨制吐剤>現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 8mg分2 day2~4 オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4 ・アプレピタント、デカドロン錠、オランザピン OD錠は内服処方才 一ダ ・アプレピタントを処方する場合は、day1のデキサート注を 9.9 mg (6.6mg 1V+1.65mg 2A)に変更 ・オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
90分	側③(メイン②と同時に) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ()mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】 06002-2A CPT-11+CDDP(胃)

06003

胃癌

S-1+Docetaxel(進行・再発)

申請科
外科

H21.7 承認 H.27.7 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	40mg/m ² /回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)～15(朝) 7日間休薬
ドセタキセル (Docetaxel)	40mg/m ²	div. (60min)	day1

3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約：2時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)～15(朝)(7日間休薬)		
	エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後		
30分	day1 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
60分	側①生理食塩液 250mL 1B ドセタキセル注 ()mg		備 考 ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】 06003-1A S-1+Docetaxel ・S-1は処方内服オーダー

06004

胃癌

XP

申請科

外科

H23.4 登録、H27.7 改訂、H.28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R4.10 改訂 R7.3 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
カペシタビン (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1.66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1.96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p. o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
シスプラチン(cisplatin)	80mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎 可能限り継続

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝)(7日間休薬) カペシタビン ()mg 分2朝夕食後 day4		メイン⑧ヘパリンNa ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本 day2、3
内服	デカドロン錠 8mg 分2 day1	90分	メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A
		30分	メイン②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B
90分	メイン③生理食塩液 500mL 1B	90分	メイン③ポタコールR 500mL 1B デキサート注 6.6mg 1V
30分	メイン④グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B		メイン④ヘパリンNa ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
30分	メイン⑤マンニットールS 300mL 1B		
2時間	メイン⑥生理食塩液 500mL 1B		
2時間	側①(メイン⑥と同時に) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ()mg		備考 <推奨制吐剤>現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4 ・アプレピタント、オランザピン OD 錠は内服処方オーダ ・アプレピタントを処方する場合は、day1のデキサート注を 9.9mg (6.6mg 1V+1.65mg 2A)に変更 ・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
90分	側②ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A		
90分	メイン⑦ソルデム3A 500mL 1B		【レジメンシステム登録】 06004-1A XP ・カペシタビンは処方内服オーダ ・デカドロン錠は処方内服オーダ

06005

胃 癌

トラスツズマブ+XP

申請科

外科

H23.4 登録、H25.7キシレジメン追加、H27.7 改訂 H28.6 改訂 H30.9 改訂 H31.3 改訂 R2..6 改訂 R3.6 改訂
R4.10 改訂 R5.3 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
カペシタビン (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後 初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg 80mg/m ²	p. o.	day1(夕)~day15(朝) 7日間休薬
トラスツズマブ (trastuzumab)		div. (90min)	day1
シスプラチニン(cisplatin)		2回目以降(30min) div. (2h)	day1

3週毎 可能限り継続

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝)(7日間休薬)	90分	day2, 3
	カペシタビン ()mg 分2朝夕食後 day4		メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注 10mg 1A
内服	デカドロン錠 8mg 分2	90分	メイン②ポタコールR 500mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V メイン③ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本
	day1		
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		備 考
	側①トラスツズマブ ()mg		
90分	生理食塩液 250mL 1B		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
	大塚蒸留水 100mL ()mL		・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。
30分	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		・蒸留水は体重換算の量で登録
	側②生理食塩液 50mL 1B		6mg/kg → 0.286mL/kg 8mg/kg → 0.381mL/kg
90分	メイン②ソルデム3A 500mL 1B		<推奨制吐剤>現行に追加
	メイン③生理食塩液 100mL 1B		アプレビタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1
30分	デキサート注 6. 6mg 2V		アプレビタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3
	メイン④生理食塩液 500mL 1B		オランザピンOD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4
90分	メイン⑤パロセトロント点滴静注バッグ 0.75mg 1B		・アプレビタント、オランザピンOD錠は内服処方オーダー
	メイン⑥マンニットールS 300mL 1B		・アプレビタントを処方する場合は、day1 のデキサート注を 9.9mg(6.6mg 1V+1.65mg 2A)に変更
30分	メイン⑦生理食塩液 500mL 1B		・オランザピンOD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
	側③(メイン⑦と同時に)		
2時間	生理食塩液 500mL 1B		【レジメンシステム登録】
	シスプラチニン ()mg		06005-2A 【初回】トラスツズマブ+XP
90分	側④ソルデム3A 500mL 1B		・トラスツズマブ 8mg/kg・90分で入力 ・カペシタビン、デカドロン錠は処方内服オーダー
	メトクロプラミド注 10mg 1A		06005-4A トラスツズマブ+XP(2回目以降)
90分	メイン⑧ソルデム3A 500mL 1B		・トラスツズマブ 6mg/kg・30分で入力 ・カペシタビン、デカドロン錠は処方内服オーダー
	メイン⑨ヘパリンNa ロック用(100単位/mL) 10mL 1本		

06006

胃 癌

Paclitaxel weekly(胃)

申請科
外科

H. 27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R3. 9 改訂 R4. 3 改訂 R6. 10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m ²	d i v. (1 h)	day1、8、15

3投1休(4週間毎)

耐性になるまで

(外来)化療ベット予約:2時間で登録

Regimen

10 分	day1、8、15		
	メイン①生理食塩液 100mL 1B		
	デキサート注 6.6mg 1V		
	ファモチジン注 20mg 1V		
	ポララミン注 5mg 1A		
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B		
1 時間	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg		
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		
		備 考	
		<p>【レジメンシステム登録】 06006-2A Paclitaxel weekly(胃)</p>	

06007

胃 癌

CPT-11 B 法(biweekly)(胃)

申請科
外科

H. 27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R2. 6 改訂 R3. 5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	150mg/m ²	div. (90min)	biweekly day1、15、(29)

biweekly2~3投、3週休薬

耐性になるまで

化療ベット予約:2 時間 30 分で登録

Regimen

30 分 90 分 全開 (5 分)	day1、15、(29) メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V 側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩 ()mg 側②生理食塩液 50mL 1B		
	備 考		
	【レジメンシステム登録】 06007-1A CPT-11 B 法(biweekly)(胃) •day1・15 投与、1ケール 5 週間で登録		

06009

胃 癌

Paclitaxel(1回法)

申請科
外科

H30.9 改訂 R3.9 改訂 科別(外科) R4.3 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
パクリタキセル (paclitaxel)	210mg/m ²	div. (3h 以上)	day1

3週毎

(外来)化療ベット予約:4 時間で登録

Regimen

10 分	day1			
	メイン①生理食塩液	100mL	1B	
	デキサート注	6.6mg	2V	
	デキサート注	1.65mg	2V	
	ファモチジン注	20mg	1V	
30 分	ポララミン注	5mg	1A	
	側①生理食塩液	50mL	1B	
3 時間	側②5%ブドウ糖液	500mL	1B	
	パクリタキセル点滴静注液()	mg		
全開 (5 分)	側③生理食塩液	50mL	1B	備 考
	<p>【レジメンシステム登録】 06009-2B Paclitaxel(1回法)</p>			

06010

胃癌

Docetaxel(胃)

申請科
外科

H21.8 承認 H.27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	60mg~70mg/m ²	i. v. (1h以上)	day1

3~4週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2時間で登録

Regimen

30分	day1 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V			
	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg			
	側②生理食塩液 50mL 1B			
備考				
<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>06010-1B Docetaxel(胃) ·60mg/m²、1クール 3週間で入力</p>				

06013

胃 癌

MTX+5-FU 交代(入院用)

申請科
外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 科別(外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
メソトレキセート (methotrexate)	100mg/m ²	i. v.	day1
フルオロウラシル (5-FU)	800mg/m ²	div.	day1 MTX 投与後1~3時間 後に投与
ロイコボリン (leucovorin)	120mg/body ※2日間総量	p. o.	day2~3(6時間毎に 15mg×8回内服)

7日毎

効果なくなるまで

Regimen

内服	day1 メソトレキセート投与開始30分前 ダイアモックス錠(250mg) 1錠		day2~3 メソトレキセート投与後24時間目より ロイコボリン錠(5) 15mgを6時間毎に 8回内服する。
	3 時間 メイン①ソルデム3A 500mL 1B メイロン 20mL 2V		
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL 1B メソトレキセート ()mg		備 考
	2 時間 側②(側①終了1時間後から開始) 生理食塩液 500mL 1B フルオロウラシル注 ()mg		<ul style="list-style-type: none"> フルオロウラシルはメソトレキセート投与1~3時間後に投与を開始する。 メソトレキセートによる腎障害を予防するため、尿のアルカリ化を行う。ダイアモックス、メイロンの併用を行うこと。 非ステロイド系抗炎症剤、他の抗がん剤の併用は行わないこと。 MTX 投与中及び投与後、尿のpH がアルカリ側であることを確認する。
内服	メソトレキセート投与 5 時間後 ダイアモックス錠(250mg) 1錠		<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>06013-1B MTX+5-FU 交代(入院用)</p> <p>・ダイアモックス、ロイコボリンはレジメン内の処方に登録</p>

06014

胃癌

S-1+Paclitaxel 3週毎

申請科
外科

H19.6 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 R3.9 改訂 科別(外科) R4.3 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
パクリタキセル (paclitaxel)	50mg/m ²	div. (2h)	day1、8

3週毎

効果なくなるまで

(外来)化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝)(7日間休薬)			
	エスワンタイホウ ()mg			
分2 朝夕食後				備 考
day1、8				<ul style="list-style-type: none"> ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B		
	デキサート注 6.6mg	1V		
	ファモチジン注 20mg	1V		
	ポララミン注 5mg	1A		
30分	側①生理食塩液 50mL	1B		
1時間	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B		
	パクリタキセル点滴静注液()mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		
【レジメンシステム登録】				06014-2B S-1+Paclitaxel 3週毎
				・S-1は内服処方オーダ

06015

胃癌

S-1+CPT-11

申請科
外科

H19.6 改訂 H28.6 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(外科)

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 14日間休薬 または day1(夕)~29(朝) 14日間休薬 ※1ケール期間延長
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	80mg/m ²	div. (90min)	day1, 15

(4週毎)

2~3ケール

化療ベット予約:2時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝)連日投与(14日間休薬) または day1(夕)~29(朝)連日投与(14日間休薬) エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後		
		備 考	
15分	day1、15 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V メトクロプラミド注 10mg 2A 側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩注 ()mg	<ul style="list-style-type: none"> S-1は他のフッ化ビリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようとする。 S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。 <p>【レジメンシステム登録】</p> 06015-1B S-1+CPT-11	<ul style="list-style-type: none"> S-1: 14日間投与、1ケール4週毎で登録 S-1 は処方内服オーダ
全開(5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		

06016

胃癌

S-1+CDDP(day1・15)

申請科

外科

H19.6 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂 R7.6 改訂 科別(外科)

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p. o.	day1(夕)~22(朝) 7日間休薬
シスプラチニン(cisplatin)	30mg/m ²	div. (90min)	day1, 15

4週毎

3ケール

類似プロトコール S-1+CDDP 療法(06001)、S-1+CDDP 療法(day1・8)(06017)あり

化療ベット予約:5 時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)~22(朝)(7日間休薬)		
	エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後		備 考
	day1、15		<ul style="list-style-type: none"> S-1は他のフッ化ビリミジン系薬剤とは併用禁忌。 前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。
90 分	メイン①ソルデム3A 500mL 1B		
30 分	メイン②パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		<ul style="list-style-type: none"> S-1、Cisplatin は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
90 分	メイン③生理食塩液 500mL 1B		
90 分	側①(メイン③と同時に) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチニン注 ()mg		
90 分	側②ソルデム3A 500mL 1B		<p><推奨制吐剤>現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1、15 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3、16、17 デカドロン錠 8mg分2 day2~4、16~18 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4、15~18 -アプレピタント、デカドロン錠、オランザピン OD 錠は内服処方オーダー -アプレピタントを処方する場合は、day1、15 のデキサート注を 9.9mg (6.6mg1V+1.65mg2A)に変更 -オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌</p>
	【レジメンシステム登録】 06016-2B S-1+CDDP(day1・15) -S-1 は処方内服オーダー		

06017

胃癌

S-1+CDDP(day1・8)

申請科

外科

H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂 R7.6 改訂 科別(外科)

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p. o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
シスプラチニン(cisplatin)	25mg/m ²	div. (90min)	day1、8

3週毎

効果なくなるまで

類似プロトコール S-1+CDDP 療法(06001)、S-1+CDDP 療法(day1・15)(06016)あり

化療ベット予約:3 時間 30 分で登録

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝)(7日間休薬)		
		備 考	
30分	エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後		<ul style="list-style-type: none"> S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。 前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようとする。
90分	day1、8 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		<ul style="list-style-type: none"> S-1、Cisplatin は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
90分	メイン②生理食塩液 500mL 1B 側①(メイン②と同時に) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチニン注 ()mg		<p><推奨制吐剤>現行に追加</p> <p>アプレビタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1、8 アプレビタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3、9、10 デカドロン錠 8mg分2 day2~4、9~11 オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4、8~11</p> <ul style="list-style-type: none"> アプレビタント、デカドロン錠、オランザピン OD錠は内服処方オーダー アプレビタントを処方する場合は、day1、8 のデキサート注を 9.9mg (6.6mg1V+1.65mg2A)に変更 オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
	【レジメンシステム登録】 06017-2B S-1+CDDP(day1・8) ・S-1 は処方内服オーダ		

06018

胃癌

アブラキサン(3週毎)(胃)

申請科
内科

H26.6 承認、H29.11 更新 H30.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	260mg/m ²	div(30分)	day1

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分 30分 全開 (5分)	day1		
	メイン①生理食塩液 50mL 1B		
	側②生理食塩液 () mL ※アブラキサン () mg		
	側②生理食塩液 50mL 1B		
<p>※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)=</p> $\frac{260\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$			<p>備 考</p> <p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 06018-1A アブラキサン(3週毎) (胃) 共通へ変更</p>

06019

胃癌

XELOX(中心)(胃)

申請科

外科

H27.6 承認 H.27.12 更新 H28.9.改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂 R4.10 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
カペシタбин (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬 (2投1休)
オキサリプラチン (oxaliplatin)	130mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

術後補助療法:8コース

再発・進行:可能な限り継続

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服	day1夕食後～day15朝食後 (7日間休薬) カペシタбин ()mg 分2朝夕食後		
			備 考
30分	day1 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		【レジメンシステム登録】 06019-2A XELOX (中心)(胃)
			・カペシタбинは処方内服オーダ
2時間	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		

06020

胃癌

XELOX(末梢)(胃)

申請科

外科

H27.6 登録 H.27.12 更新 H28.9 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂 R4.10 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
カペシタビン (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
オキサリプラチン (oxaliplatin)	130mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

術後補助療法:8コース

再発・進行:可能な限り継続

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服 30分	day1(夕)~day15(朝) (7日間休薬) カペシタビン ()mg 分2朝夕食後		
	day1 メイン①パロセトム点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		
2時間	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg デキサート注 1. 65mg 1A		備 考 ・5%ブドウ糖液500mLの液量及びデキサートの混注はオキサリプラチンによる血管炎予防
	側②生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】 06020-2A XELOX(末梢)(胃) ・カペシタビンは処方内服オーダー
全開 (5分)			

06021

胃癌

トラスツズマブ+CapeOX(中心)

申請科
外科

H27.6 承認 H28.9 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R4.3 改訂 R4.10 改訂 R5.3 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
カペシタбин (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
トラスツズマブ (trastuzumab) オキサリプラチン (oxaliplatin)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg 130mg/m ²	div. (90min) 2回目以降(~30min) div. (2h)	day1 day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝) (7日間休薬) カペシタebin ()mg 分2朝夕食後 day1 メイン①生理食塩液50mL 1B	全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B
		備 考	
5分 ※	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
30分	側②パロセトム点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		【レジメンシステム登録】 06021-2A 【初回】トラスツズマブ+CapeOX(中心) ・トラスツズマブ 8mg/kg・90分で登録 ・カペシタбинは処方内服オーダ 06021-4A トラスツズマブ+CapeOX(中心) (2回目以降) ・トラスツズマブ 6mg/kg・30分で登録 ・カペシタбинは処方内服オーダ ・R5.1 レジメン名称をトラスツズマブ+XELOX(中心) →トラスツズマブ+CapeOX(中心)へ変更
2時間	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg		

06022

胃癌

トラスツズマブ+CapeOX(末梢)

申請科

外科

H27.6月登録 H28.9改訂 H30.9改訂 H31.2改訂 R2.6改訂 R4.3改訂 R4.10改訂 R5.3改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
カペシタбин (Capecitabine)	1. 36m ² 未満: 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満: 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満: 1800mg/回 1. 96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (90min) 2回目以降(~30min)	day1
オキサリプラチン (oxaliplatin)	130mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬) カペシタбин ()mg 分2朝夕食後	全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B
	備 考		
5分	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。	
※		・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。	
90分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	・5%ブドウ糖液500mLの液量及びデキサートの混注はオキサリプラチンによる血管炎予防	
30分		・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
30分	側②パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	【レジメンシステム登録】 06022-2A 【初回】トラスツズマブ+CapeOX(末梢) ・トラスツズマブ 8mg/kg・90分で登録 ・カペシタбинは処方内服オーダー	
2時間	側③5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg デキサート注 1. 65mg 1A	06022-4A トラスツズマブ+CapeOX(末梢) (2回目以降) ・トラスツズマブ 6mg/kg・30分で登録 ・カペシタбинは処方内服オーダー	
		・R5.1 レジメン名称をトラスツズマブ+XELOX(末梢) →トラスツズマブ+CapeOX(末梢)へ変更	

06023	胃癌	<u>SOX OX=100(中心)(胃)</u>	申請科 外科
-------	----	--------------------------	-----------

H27.7 承認 H28.9 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
オキサリプラチン (oxaliplatin)	100mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後	
30分	day1 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	備 考 ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
2時間	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg	
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 06023-2A SOX OX=100(中心)(胃) ・S-1は処方内服オーダー

06024	胃癌	SOX OX=100(末梢)(胃)	申請科 外科
-------	----	-------------------	-----------

H27.7 承認 H28.9 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
オキサリプラチン (oxaliplatin)	100mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後		
		備 考	
30分	day1 メイン①パロセトム点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	・5%ブドウ糖液500mLの液量及びデキサートの 混注はオキサリプラチンによる血管炎予防	
2時間	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg デキサート注 1. 65mg 1A	・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁 忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以 上経過していることを確認し、残薬の所持を確 認する。残薬所持の場合は、併用しないよう にする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内 であることを確認する。逸脱する場合は、減量 もしくは投与不可となる。	
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 06024-2A SOX OX=100(末梢)(胃) ・S-1は処方内服オーダー	

06025	胃癌	トラスツズマブ+SOX OX=100(中心)	申請科 外科
-------	----	---------------------------	-----------

H27.7 承認 H28.9 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R4.3 改訂 R5.3 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (90min) 2回目以降(~30min)	day1
オキサリプラチン (oxaliplatin)	100mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎 可能な限り継続

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬)		
	エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後		・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
5分	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B		
※	側①生理食塩液 250mL 1B		
90分	トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30分			・S-1は他のフルカロリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
30分	側②パロセトロント点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		【レジメンシステム登録】 06025-2A 【初回】トラスツズマブ+SOX OX=100(中心) ・トラスツズマブ 8mg/kg・90分で登録 ・S-1は処方内服オーダ
2時間	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg		06025-4A トラスツズマブ+SOX OX=100(中心) (2回目以降) ・トラスツズマブ 6mg/kg・30分で登録 ・S-1は処方内服オーダ
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		

備考

※トラスツズマブは初回投与の耐容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

06026	胃癌	トラスツズマブ+SOX OX=100(末梢)	申請科 外科
-------	----	---------------------------	-----------

H27.7 承認 H28.9 改訂 H30.1 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R4.3 改訂 R5.3 改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25m ² 未満: 40mg/回 1. 25m ² ~1. 5m ² 未満: 50mg/回 1. 5m ² 以上: 60mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
トラスツズマブ (trastuzumab) オキサリプラチン (oxaliplatin)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg 100mg/m ²	div. (90min) 2回目以降(30min) div. (2h)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

内服	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬)		
	エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL, 150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
5分 ※	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B		【レジメンシステム登録】 06026-2A 【初回】トラスツズマブ+SOX OX=100(末梢) ・トラスツズマブ 8mg/kg 90分で登録 ・S-1 は処方内服オーダー
90分 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		06026-4A トラスツズマブ+SOX OX=100(末梢) (2回目以降) ・トラスツズマブ 6mg/kg 30分で登録 ・S-1 は処方内服オーダー
30分	側②パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		
2時間	側③5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg デキサート注 1. 65mg 1A		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
備考			
・5%ブドウ糖液500mLの液量及びデキサートの混注はオキサリプラチンによる血管炎予防			

06027	胃癌	ラムシルマブ+パクリタキセル	申請科 外科
-------	----	----------------	-----------

H27.9 登録 H28.1 改訂 H30.9 改訂 R2.12 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R5.1 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
サイラムザ (Ramucirumab)	8mg/kg	div.(60min)	day1, 15
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m ²	div.(60min)	day1, 8, 15

4週間毎 可能な限り継続

(外来)化療ベット予約: day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録

Regimen

	day1、15		
10分	メイン①生理食塩液 100mL デキサート注 6.6mg ファモチジン注 20mg ポララミン注 5mg	1B 1V 1V 1A	
※			備 考
60分	側①生理食塩液 250mL	1B	・サイラムザ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・サイラムザによる infusion reaction が発現する恐れがあるため、投与中は患者の状態を十分に観察すること。
30分	サイラムザ()mg		
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	※サイラムザの投与時間: 初回は 60 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目以降 30 分まで短縮可能。
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL パクリタキセル()mg	1B	
全開(5分)	側④生理食塩液 50mL	1B	【レジメンシステム登録】 06027-2A ラムシルマブ+パクリタキセル
	day8		
10分	メイン①生理食塩液 100mL デキサート注 6.6mg ファモチジン注 20mg ポララミン注 5mg	1B 1V 1V 1A	
30分	側①生理食塩液 50mL	1B	
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL パクリタキセル()mg	1B	
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B	

06028	胃癌	ラムシルマブ(胃)	申請科 外科
-------	----	-----------	-----------

H27.9 登録 H30.9 改訂 R2.2 改訂 R2.6 改訂 R2.12 改訂 R5.1 改訂 R6.9 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
サイラムザ (Ramucirumab)	8mg/kg	div.(60min)	day1, 15

4週間毎 可能な限り継続

(外来)化療ベット予約:1.5 時間で登録

Regimen

※	day1, 15		
	10分 メイン①生理食塩液 100mL	1B	
	ポララミン注 5mg	1A	
	60分 側①生理食塩液 250mL	1B	
	30分 サイラムザ ()mg		備 考
			<ul style="list-style-type: none"> ・サイラムザ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・サイラムザによる infusion reaction が発現する恐れがあるため、投与中は患者の状態を十分に観察すること。 <p>※サイラムザの投与時間:初回は60分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2回目以降30分まで短縮可能。</p>
			<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>06028-1A ラムシルマブ(胃)</p> <p>R2.12 添付文書改訂により、ラムシルマブ点滴静注の投与時間短縮可能であるコメント追記</p>

06030

胃癌

アブラキサン(毎週)(胃)

申請科
外科

H30.1 承認 H30.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	100mg/m ²	div(30分)	day1,8,15

4週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分 30分 全開 (5分)	day1		
	メイン①生理食塩液 50mL 1B		
	側①生理食塩液 () mL ※アブラキサン () mg		
	側②生理食塩液 50mL 1B		
<p>※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)=</p> $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$			備考
<p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 06030-1A アブラキサン(毎週)(胃)</p>			

06031

胃癌

m-FOLFOX6(胃)

申請科

外科

H30.3 承認 H30.9 改訂 H31.2 改訂 R4.3 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
オキサリプラチン (oxaliplatin)	85mg/m ²	div.(2h)	day1
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/m ² 2400mg/m ²	div.(15min) civ.(46h) 静注ポート	day1 day1~3
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m ²	div.(2h)	day1

2週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

30分	day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ 1本 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	46時間	day1~3 静注ポート(シアーフューザーA SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル () mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mLに調製する (ポート② = 2400mg/m ²) ポート③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
	2時間 メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート() mg		
	2時間 側①(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン() mg		
	15分 側②(メイン②終了後) 5%ブドウ糖液 100mL 1B フルオロウラシル() mg (側② = 400mg/m ²)		備 考
	5分 側③生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】 06031-2A m-FOLFOX6(胃)

06032

胃 癌

トラスツズマブ+S-1+CDDP

申請科

外科

H30.6登録 H30.9改訂 H31.3改訂 R2.6改訂 R3.6改訂 R4.3改訂 R5.3改訂 R7.6改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (90min) 2回目以降(30min)	day1
エスワンタイホウ (S-1)	1.25m ² 未満 : 40mg/回 1.25m ² ~1.5m ² 未満: 50mg/回 1.5m ² 以上 : 60mg/回 1日2回 朝夕食後	p.o	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
シスプラチン(cisplatin)	60mg/m ²	div. (2h)	day1

3週毎

Regimen

内服	day1(夕)~15(朝) (7日間休薬)	備考
内服	エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、 2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
	day4 デカドロン錠 8mg分2	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
※		・S-1は他のツチ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。 前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。
90分	側①生理食塩液 250mL 1B	・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。
30分	トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL	<推奨制吐剤>現行に追加 アプレビタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	アプレビタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1~4
90分	メイン②ソルデム3A 500mL 1B	・アプレビタント、オランザピン OD錠は内服処方オーダー
30分	メイン③生理食塩液 100mL 1B	・アプレビタントを処方する場合は、day1のテキサート注を 9.9mg(6.6mg1V+1.65mg2A)に変更
90分	デキサート注 6.6mg 2V	・オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある 患者には禁忌
30分	メイン④生理食塩液 500mL 1B	【レジメンシステム登録】
30分	メイン⑤パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B	06032-2A 【初回】トラスツズマブ+S-1+CDDP ・トラスツズマブ 8mg/kg・90分で入力
2時間	メイン⑥マンニットールS 300mL 1B	・S-1は処方内服オーダー
2時間	メイン⑦生理食塩液 500mL 1B	・デカドロン錠は処方内服オーダー
90分	側③(メイン⑦と同時に) 生理食塩液 500mL 1B	06032-4A トラスツズマブ+S-1+CDDP (2回目以降) ・トラスツズマブ 6mg/kg・30分で入力
	シスプラチン ()mg	・S-1は処方内服オーダー
90分	側④ソルデム3A 500mL 1B	・デカドロン錠は処方内服オーダー
	メトクロプラミド注10mg 1A	
	側⑤ヘパリンNaロック用(100単位/mL) 10mL 1本	
	day2, 3	
90分	メイン①ソルデム3A 500mL 1B メトクロプラミド注10mg 1A	
90分	メイン②ポタコールR 500mL 1B デキサート注 6.6mg 1V	
	メイン③ヘパリンNaロック用(100単位/mL) 10mL 1本	

06033

胃癌

ラムシルマブ+アブラキサン

申請科
外科

H30.6登録 H30.9 H30.12改訂 R2.12改訂 R5.1改訂 R6.9改訂 R6.10改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
サイラムザ (ramucirumab)	8mg/kg	div.(60min)	day1, 15
アブラキサン (nab-paclitaxel)	100mg/m ²	div.(30min)	day1, 8, 15

4週間毎 可能な限り継続

化療ペット予約: day1,15 は 2 時間、day8 は 1 時間で登録

Regimen

10分	day1, 15			※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
	メイン①生理食塩液 100mL	1B	ポララミン注 5mg	
※	側①生理食塩液 250mL	1B	サイラムザ()mg	備 考
30分	側②生理食塩液 50mL	1B		・アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・サイラムザによる infusion reaction が発現する恐れがあるため、投与中は患者の状態を十分に観察すること。 ・サイラムザはインラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと)
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL	1B		
5分	側④(側③と同ルートから) 生理食塩液()mL アブラキサン()mg			
30分	側⑤(側④終了後、側④と同ルートから) 生理食塩液 50mL	1B		※サイラムザの投与時間; 初回は60分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2回目以降30分まで短縮可能。
全開(5分)				
5分	day8			【レジメンシステム登録】 06033-1A ラムシルマブ+アブラキサン
	メイン①生理食塩液 50mL	1B		
30分	側①生理食塩液()mL アブラキサン()mg			
全開(5分)	側②生理食塩液 50mL	1B		R2.12 添付文書改訂により、ラムシルマブ点滴静注の投与時間短縮可能であるコメント追記

06034	胃癌	ニボルマブ(240mg)(胃)	申請科 消化器内科
-------	----	-----------------	--------------

H30.9 登録 R2.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
オプジー ^ボ (Nivolumab)	240mg／body	div.(30分)	day1

2週毎

可能な限り継続

化療ベット予約: 1時間で登録

Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 30分 側①生理食塩液 100mL オプジー ^ボ 240mg 全開(5分) 側②生理食塩液 50mL	1B	
			備 考
			<ul style="list-style-type: none"> ・オプジー^ボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジー^ボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジー^ボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジー^ボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
			<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>06034-1A ニボルマブ(240mg)(胃) H30.9 添付文書改訂に伴い 3mg/kg (06029-1A) →240mg/body へと用量変更 R2.12 バイタルサインのモニターをオプジー^ボとして初回投与時のみに変更</p>

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06035-1A	共通	胃がん	<u>S-1+Docetaxel(術後補助療法)</u>	外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb IIIc IV PS; 0~1 (まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
エスワンタイホウ (S-1)	40mg/m ² /回 1日2回朝夕食後 1.25 m ² 未満: 40mg/回 1.25 m ² ~1.5 m ² 未満 : 50mg/回 1.5 m ² 以上: 60mg/回	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬 (1-7コース) day1(夕)~29(朝) 14日間休薬 (8コースから術後1年後まで) day1 (2-7コース)	
ドセタキセル (Docetaxel)	40mg/m ²	div. (60min)		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	1-7コース 3週毎 8コース以降 6週毎 術後1年まで	化療ベット予約: 2時間で登録		
Radiation併用 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	内服	8コース~術後1年後まで	
内服	1-7コース day 1(夕)~15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後		day 1(夕)~29(朝)(14日間休薬) エスワンタイホウ ()mg 分2 朝夕食後	
30分	2-7コース day 1 メイン①ケラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注6.6mg 1V	備考 • S-1は他のフツ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようとする。 • S-1は腎機能(Cre、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。		
60分	側①生理食塩液 250mL 1B ドセタキセル注 ()mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 06035-1A S-1+Docetaxel(術後補助療法) • S-1は処方内服オーダー		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06036-1A	共通	胃癌	<u>ニボルマブ+SOX(中心)</u>	消化器内科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS;0 ~1(まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(未治療)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1クール)
オプジー ^ボ	360mg/body		div.(30min)	day1
オキサリプラチン	130mg/m ²		div. (2h)	day1
エスワンタイホウ (S-1)	1.25m ² 未満:40mg/回 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回 1.5m ² 以上:60mg/回 1日2回 朝夕食後		p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3週毎・回	化療ペット予約: 3.5 時間で登録	
Radiation併用 有・無		1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr		
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬)			
	エスワンタイホウ()mg		備考	

	分2 朝夕食後		
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL オプジー ^ボ 360mg	1B	<ul style="list-style-type: none"> ・オプジー^ボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジー^ボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。
30分	側②生理食塩液 50mL デキサート注 6.6mg	1B	<ul style="list-style-type: none"> ・オプジー^ボを希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・オプジー^ボは 30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジー^ボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジー^ボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
全開 (5分)	メイン② ^{ハロセトロン} 点滴静注バッグ 0.75mg オキサリプラチニン点滴静注液()mg	1B	<ul style="list-style-type: none"> ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しない。 ・S-1は腎機能(Cre,Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。 <p>【レジメンシステム登録】</p>
30分	側③5%ブドウ糖液 250mL オキサリプラチニン点滴静注液()mg	1B	06036-1A ニボルマブ+SOX(中心)
2時間	側④生理食塩液 50mL	1B	・S-1は处方内服オーダ R4.3 登録
全開 (5分)			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06037-1A	共通	胃癌	<u>ニボルマブ+SOX(末梢)</u>	消化器内科

適応患者

病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV
PS;0 ~1(まで)

adjuvant neoadjuvant 再発・進行

その他(未治療)

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間

薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
オプジー ^ボ	360mg/body	div.(30min)	day1
オキサリプラチニン	130mg/m ²	div. (2h)	day1
エスワンタイホウ (S-1)	1.25m ² 未満:40mg/回 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回 1.5m ² 以上:60mg/回 1日2回 朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬

インターバル日数・
最大投与回数(End point)

3週毎・回

化療ベット予約: 3.5 時間で登録

Radiation 併用 有・無

1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr

レジメン

	day1(夕)~day15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後	備考
		<ul style="list-style-type: none"> ・オプジー^ボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジー^ボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、

	day1		総液量は 60mL 以上を目安とすること。
5 分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	・オプジーボを希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。
30 分	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 360mg	1B	・オプジーボは 30 分以上かけて点滴静注すること。
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL	1B	・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
30 分	メイン② ^パ ロセトロン点滴静注バッケージ 0.75m g 1B デキサート注 6. 6mg 1V		・S-1は他のフッ化ビリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後 7 日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しない。
2 時間	側③5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチニン点滴静注液()mg デキサート 1. 65mg 1A		・S-1は腎機能(Cre,Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。 ・5%ブドウ糖液 500mL の液量及びデキサートの混注は オキサリプラチニンによる血管炎予防 【レジメンシステム登録】 06037-1A ニボルマブ+SOX(末梢) ・S-1 は処方内服オーダ
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL	1B	

R4.3 登録 R4.10 更新

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06038-1A	共通	胃癌	<u>ニボルマブ+CapeOX(中心)</u>	消化器内科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0 ~ 1(まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(未治療)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ	360mg/body	div.(30min)	day1	
オキサリプラチニン	130mg/m ²	div. (2h)	day1	
カペシタビン (Capecitabine)	1.36m ² 未満: 1200mg/回 1.36~1.66m ² 未満: 1500mg/回 1.66m ² ~1.96m ² 未満: 1800mg/回 1.96m ² 以上: 2100mg/回 1日2回 朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回	化療ベット予約: 3.5 時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	day1(夕)~day15(朝) (7日間休薬)			

	カペシタビン()mg 分2 朝夕食後	備 考
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B	・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B オプジーボ 360mg	・オプジーボを希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B	・オプジーボは 30 分以上かけて点滴静注すること。
30 分	メイン②パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg デキサート注 6. 6mg 1V	・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
2 時間	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチニン点滴静注液()mg	
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 06038-1A ニボルマブ+CapeOX 療法(中心) ・カペシタビンは処方内服オーダー

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06039-1A	共通	胃癌	ニボルマブ+CapeOX(末梢)	消化器内科

適応患者

病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS;0 ~1(まで)	<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(未治療)
--	--

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間

薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 クール)
オプジーボ	360mg/body	div.(30min)	day1
オキサリプラチニン	130mg/m ²	div. (2h)	day1
カペシタビン (Capecitabine)	1.36m ² 未満:1200mg/回 1.36~1.66m ² 未満:1500mg/回 1.66m ² ~1.96m ² 未満:1800mg/回 1.96m ² 以上:2100mg/回 1 日 2 回 朝夕食後	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7 日間休薬

インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎・回	化療ベット予約: 3.5 時間で登録
--------------------------------	--------	--------------------

Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr
------------------	--------------------------

レジメン	
------	--

投与時間	投与日及び投与ルート	
------	------------	--

	day1(夕)～day15(朝) (7日間休薬)		
	カペシタビン()mg 分2 朝夕食後		備 考
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		<ul style="list-style-type: none"> ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。 ・オプジーボを希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合はボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・オプジーボは 30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 ・5%ブドウ糖液 500mL の液量及びデキサートの混注は オキサリプラチンによる血管炎予防 <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>06039-1A ニボルマブ+CapeOX 療法(末梢)</p> <p>・カペシタビンは処方内服オーダ</p>
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B オプジーボ 360mg		
全開(5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
30 分	メイン②ハロノセトロン点滴静注パック 0.75 mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		
2 時間	側③5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg デキサート1. 65mg 1A		
全開(5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06040	共通	CLDN18.2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌	Zolbetuximab(800-400) + mFOLFOX6	消化器内科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb IV P S ; 0 ~ 1 (2まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他 ()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
ビロイ (Zolbetuximab)	初回 800mg/m ² 2回目以降 400mg/m ²	div. (120min以上)	Day 1	
オキサリプラチン (oxaliplatin) フルオロウラシル (5-FU)	85mg/m ² 400mg/m ² 2400mg/m ²	div. (120min) div. (15min) civ. (46h) 静注ポート	Day 1 Day 1 Day 1 ~ 3	
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m ²	div. (2h)	Day 1	
インターバル日数・ 最大投回数(End point)	2週毎	化療ベット予約 :		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	15分	側⑤(メイン②終了後) 5%ブドウ糖液 100mL 1B フルオロウラシル ()mg (側⑤= 400mg/m ²)	
内服 30分	前日または day1 オランザピン OD 錠 5mg 夕食後 day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ 1本 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B アロカリス点滴静注 235mg 1V デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A ポララミン注 5mg 1A	5分	側⑥生理食塩液 50mL 1B day1~3 静注ポート(シアーフューザー A SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル ()mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mL に調製する (ポート② = 2400mg/m ²)	
	5分	46時間	ポート③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本	
2時間以上※	側①生理食塩液 50mL 1B 側②生理食塩液 ()mL ビロイ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (ビロイは必要量の蒸留水で溶解しています)		備 考	
	5分		<ul style="list-style-type: none"> ・ オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌 ・ ビロイは蒸留水 5.0mL で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液で 10 倍に希釈し点滴 (希釈後の濃度が 2.0mg/mL) ・ ビロイ溶解用の蒸留水の量は体表面積で算出 800mg/m² → 40mL/m² 400mg/m² → 20mL/m² 	
2時間	側③生理食塩液 50mL 1B メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート ()mg 側④(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液 ()mg			

<ul style="list-style-type: none"> ・ビロイ希釈用の生食の量は体表面積で算出 $800\text{m g / m}^2 \rightarrow 360\text{m L / m}^2$ $400\text{m g / m}^2 \rightarrow 180\text{m L / m}^2$ ・ビロイ投与にあたり、インラインフィルター（$0.2\mu\text{m}$）を使用すること。 ・ビロイは調製（希釈）後、6時間以内に投与完了する。やむを得ず保存する場合は、$2\text{--}8^\circ\text{C}$で保存し 24 時間以内に使用する。 (ビロイの初回投与速度) 最初の 1 時間は 100m L/h r で投与する。次の 1 時間は 200m L/h r で投与する。最後は 300m L/h r で投与する。2 時間以上かけて投与すること。 (ビロイの 2 クール目以降投与速度) 初回投与時の嘔気がなければ総量を 2 時間で投与する。初回投与時の嘔気があれば、最初の 1 時間は 100m L/h r で投与する。次の 1 時間は 125m L/h r で投与する。最後は 200m L/h r で投与する。2 時間以上かけて投与すること。 (ビロイの恶心嘔吐出現時の対応) ・恶心嘔吐を確認し、レベル 2 以上出現時はビロイを中止し 15 分様子観察。 ・症状が軽減すれば、中止前の流量で再開する。再開は医師の指示とする。 ・投与再開時のプライミング用の生食は適宜オーダー入力とする。 ・症状が軽減なければ、恶心嘔吐対策の薬剤を投与する。 ・恶心嘔吐対策の薬剤：メトクロプラミド、ノバミン、ロラゼパムなど 	<p>＜推奨制吐剤＞現行に追加 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day0~4 又は 1~4 テガドロン錠 4mg 2錠 分2 day2~4 ・オランザピン、テガドロンは内服処方オーダー</p>
--	---

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
06042	共通	CLDN18.2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌	<u>Zolbetuximab+CAPOX</u>	消化器内科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb IV P S ; 0 ~ 1 (2 まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他 ()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
ビロイ (Zolbetuximab)	初回 800mg/m ² 2回目以降 600mg/m ²	div. (120min以上)	Day 1	
オキサリプラチン (oxaliplatin)	130mg/m ²	div. (120min)	Day 1	
カペシタбин (Capecitabine)	1. 36m ² 未満 : 1200mg/回 1. 36m ² ~1. 66m ² 未満 1500mg/回 1. 66m ² ~1. 96m ² 未満 1800mg/回 1. 96m ² 以上 2100mg/回 1日2回朝夕食後	p.o.	Day 1 (夕) ~ 15 (朝) 7日間休薬	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	21日毎	化療ベット予約 :		
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
内服 30分	day1(夕)～day15(朝)(7日間休薬) カペシタбин ()mg 分2朝夕食後 前日または day1 オランザピン OD 錠 5mg 夕食後 day1 メイン①パロセトム点滴静注バッグ 0.75mg 1B アロカリス点滴静注 235mg 1V デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A ポララミン注 5mg 1A	2時間 以上※	側②生理食塩液 ()mL ビロイ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (ビロイは必要量の蒸留水で溶解しています)	
5分		5分	側③生理食塩液 50mL 1B 側④5%ブドウ糖液 500mL 1B オキサリプラチン点滴静注液 ()mg デキサート注 1.65mg 1A 側⑤生理食塩液 50mL 1B	
5分	側①生理食塩液 50mL 1B	備考		

・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌

・5%ブドウ糖液 500mL の液量及びデキサートの混注はオキサリプラチンによる血管炎予防

・ビロイは蒸留水 5.0m Lで溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液で 10 倍に希釈し点滴

(希釈後の濃度が 2.0m g /m L)

・ビロイ溶解用の蒸留水の量は体表面積で算出

800m g / m²→40m L / m²

600m g / m²→30m L / m²

・ビロイ希釈用の生食の量は体表面積で算出

800m g / m²→生食 360m L / m²

600m g / m²→生食 270m L / m²

・ビロイ投与にあたり、インラインフィルター (0.2 μ m) を使用すること。

・ビロイは調製(希釈)後、6 時間以内に投与完了する。やむを得ず保存する場合は、2-8°Cで保存し 24 時間以内に使用する。

(ビロイの初回投与速度)

最初の 1 時間は 100m L/h r で投与する。次の 1 時間は 200m L/h r で投与する。最後は 300m L/h r で投与する。2 時間以上かけて投与すること。

(ビロイの 2 クール目以降投与速度)

初回投与時の嘔気がなければ総量を 2 時間で投与する。初回投与時の嘔気があれば、最初の 1 時間は 100m L/h r で投与する。次の 1 時間は 200m L/h r で投与する。最後は 300m L/h r で投与する。2 時間以上かけて投与すること。

(ビロイの悪心嘔吐出現時の対応)

・悪心嘔吐を確認し、レベル 2 以上出現時はビロイを中止し 15 分様子観察。

・症状が軽減すれば、中止前の流量で再開する。再開は医師の指示とする。

・投与再開時のプライミング用の生食は適宜オーダー入力とする。

・症状が軽減なければ、悪心嘔吐対策の薬剤を投与する。

・悪心嘔吐対策の薬剤：メトクロラミド、ノバミン、ロラゼパムなど
<推奨制吐剤>現行に追加

オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day0~4 又は 1~4

テカドロン錠 4mg 2錠 分2 day2~4

・オランザピン、テカドロンは内服処方オーダー

【レジメンシステム登録】

ビロイは 2 時間で登録

06042-1A Zolbetuximab+CAPOX (初回)

06043-2A Zolbetuximab+CAPOX (2 クール目以降)